

チームを強くする社内ファシリテーションのススメ

■ファシリテーションとは？

ファシリテーションとは会議やワークショップ等の場で、参加者がより良い解決策を生み出す雰囲気をつくるスキルです。語源の「ファシル」から「容易にする」「促進する」の意味を持ち、話しやすくする、理解しやすくする、考えやすくする等「〇〇しやすくする」ことを言い、そうする人をファシリテーターと言います。

ファシリテーションは相手の発言を引き出し、アイデアにつながるなど、気づきを促し、最適なものに落とし込むよう組織運営を支援します。基本スタンスは、場や人の雰囲気を観察すること、発言を聴くことです。

聴くうえで意識することは3つです。

①事実、根拠、意見を区別する

相手の発言がどんな事実に基づいているか、客観的か主観的かを整理する

②抽象を掘り下げる

発言に省略されている部分や抽象的な表現を明確にするため、具体的に問いかける

③気づきを与え理解を促進する

立場で異なる発言を中立に理解し、どちらの視点も正しいという認識で向き合う。これらができる人が社内が増えることで、チームワークが強くなります。

点も正しいという認識で向き合う。これらができる人が社内が増えることで、チームワークが強くなります。

■チームワークを高めるには？

多様化が進む現代、企業や職場のチームワークが重要視されます。チームワークを強めることでポジティブな雰囲気がつくられ、生産性が上がる等さまざまな効果が表れます。また社内をサポート関係が作られることから解決能力が高まります。そうすることでパフォーマンスが上がり、業績アップにもつながります。



チームワークの強いチームには

5つのポイントがあります。

①ビジョンを共有できる

②明確な目標を設定できる

③情報を可視化できる

④意見や評価などフィードバックをもらうことができる

⑤新たなアイデアを生み出すことができる

これらが日常的にできるチームは成長できる雰囲気身を置くことから、チームビルディングができていと言えます。この雰囲気を目指すためにファシリテーションが活用できます。

■会議におけるファシリテーション

ファシリテーションは個人の価値観や会社の理

念を尊重しながらサポートをするため、組織運営に必要な不可欠なものです。特に会議の場で有効なスキルです。

報告で終わる会議、話がまとまらず終わる会議など、上手くいかない会議はありませんか？いったん「なぜ会議を行うか？」の意義を考える必要があります。私はこの「なぜ？」を方向性を意思決定していくことと捉えています。しかし意思決定ができず悩んでいる人も多いです。会議が上手くいかない理由は次のことが考えられます。

①意見が出ない

②自分の主張が多い

③雰囲気に流される

④感情的になってしまう

これらには心理的要因が潜んでおり、本質の議論をするための土台ができていないことに問題があります。有意義な会議をするには対話の促進が有効です。

まず会話をし、相手の考え方や人となりを知り気持ちを通わせます。次に対話です。そもそも「何のための会議か」を共有し、同じ目線で議論を行います。大切なのは立場ではなく相手の発言の背景にあるものを理解することです。

■有意義な会議の進め方

私がファシリテーターとして場に携わる際、対

